

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 三菱重工業株式会社神戸造船所二見工場

## 1 環境保全活動に関する方針等

### 1-1 環境保全活動に関する方針

別紙1のとおり

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

### 1-2 環境保全活動に関する組織体制

別紙2のとおり

2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
	別紙3のとおり	

## 環境保全に関する基本方針

当所の環境方針は、環境／安全衛生・放射線管理方針として一本化されており、次のとおり。

## 三菱重工業(株)神戸造船所 環境／安全衛生・放射線管理方針

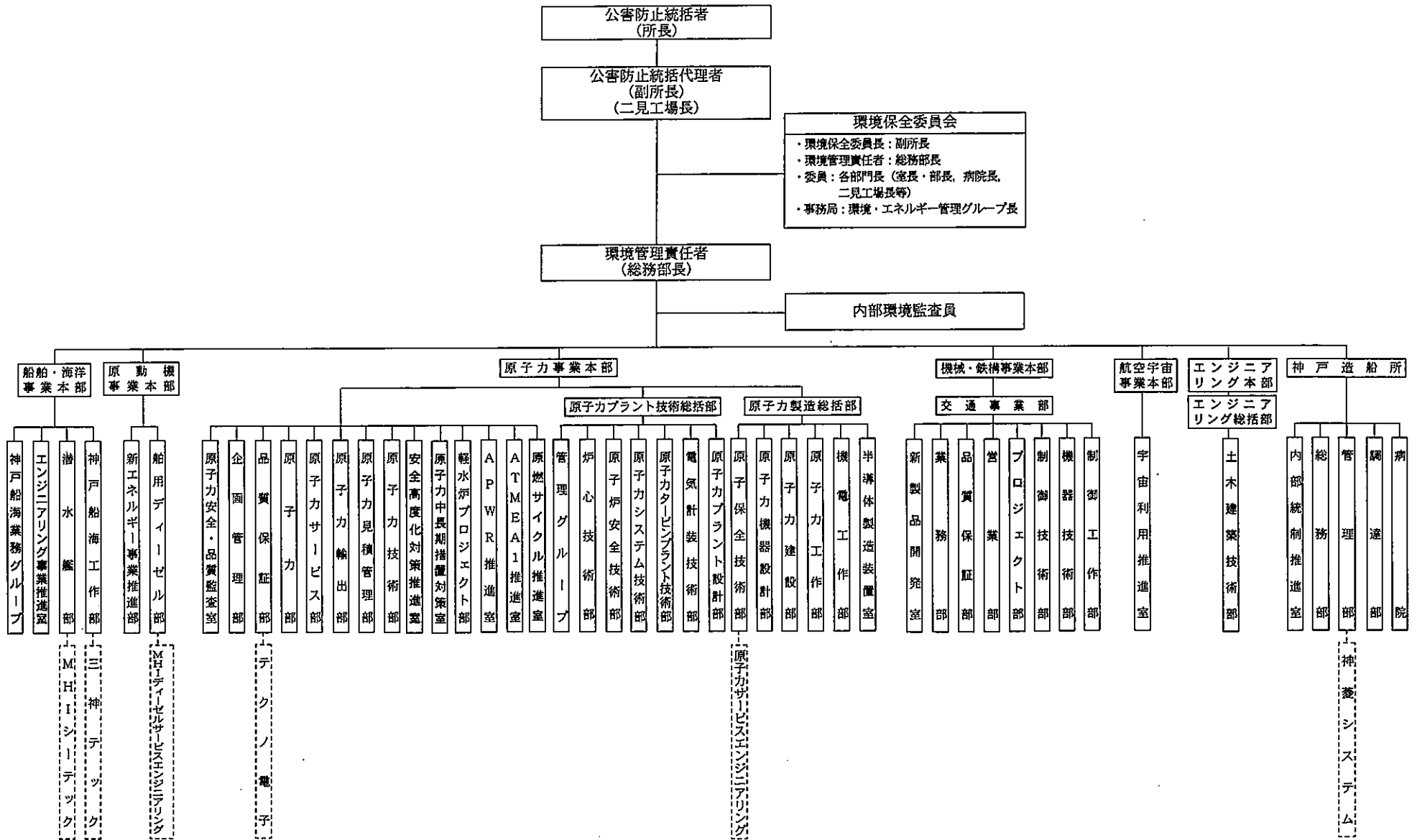
神戸造船所は、社是「顧客第一の信念に徹し、社業を通じて社会の進歩に貢献する」に基づき、地球環境の保全・社会の継続的發展に寄与することを事業活動の基本とし、社会・お客さまが信頼・満足する優れた製品・サービスの提供と事業の継続的發展を目指して、以下の環境及び安全衛生・放射線管理に関する方針を定める。

- (1) 環境及び安全衛生・放射線管理のマネジメントシステムにおいて、事業活動の管理者の責任と権限を明確にし、当社コンプライアンス指針に則り、法令、規格、基準及び協定等を遵守し、社会的責任を果たすとともに、自主的な基準・目標を定めてこれを運用・評価し、事業活動及びマネジメントシステムの有効性の継続的改善に努める。
- (2) 社会・お客さまが信頼・満足する優れた製品・サービスを提供するために、所内の人材育成・組織力の向上及び職場の継続的業務改善を図り、誇りを持って安全に仕事のできる職場風土・環境を確立し、活力のある組織構築に努める。また、中長期的視野に立ち、環境・エネルギー問題の解決に貢献する、信頼性及び安全性がより高いオリジナリティーあふれる製品や技術の開発に努める。
- (3) 事業活動及び製品・サービスが環境に与える影響を認識し、技術的・経済的に可能な範囲で、環境保全及び環境改善活動の継続的改善を図り、汚染の予防・環境負荷の低減に努める。
- (4) 全員参加の安全衛生・放射線管理活動を積極的に推進することにより、事業活動のあらゆる面で、安全衛生・放射線管理の継続的な維持・改善に努め、労働災害の防止を図る。
- (5) 従業員及び当所で働く全ての人に対して、所内広報活動・教育を通じ、本方針の理解と意識の向上を図るとともに、地域社会との協調を図り、積極的に情報を公開しコミュニケーションを重ねることにより、社会貢献・社会との共存共栄に努める。

平成23年 4月1日  
三菱重工業株式会社  
執行役員 神戸造船所長

解 氏

当所における環境管理体制は、図3のとおり



は組込み型グループ会社を示す。

図3 環境管理体制図

## 平成23年度 所環境目的・目標一覧表（年度末フォロー結果）

目的	目標	年度末フォロー結果[活動内容(計画及び実績)の概要]
行動項目 (何を)	区分 年度目標 (どの程度)	
業務プロセスの 経営品質向上	① 業務の効率化、合理化及び経営品質向上に繋がる業務プロセス(手順)の見直しと運用  (各部門毎もしくは各製品毎で、見直すべく当該プロセスを特定、実施。ものづくり革新活動の目標設定と実施)	多くの部門がV-UP新風土活動などの取り組みにより、工期の短縮や製品品質の向上、業務の効率化を目標どおり達成し、全体で83%の部門が計画通り達成。
	② 信頼性向上、品質トラブルの撲滅、クレーム費の低減に繋がる業務プロセス(手順)の見直しと運用  (各部門毎もしくは各製品毎で、見直すべく当該プロセスを特定し、見直し、実施する)※上述①に含めても良い	保守管理の強化による設備の安定稼働、関係部門との連絡強化による損失回避、クレームの要因分析実施などに取組み、全体で85%が計画通り達成。
製品設計への 環境配慮	③ 製品環境側面が、設計インプット/レビュー情報として、確実に反映されるための仕組み作りと運用  (設計対象製品で、必ず環境配慮事項が反映されていること)	試験研究・新製品に対して「製品環境側面・環境影響評価シート」を作成し、環境配慮事項の明確化、設計レビュー時の確実な反映に取組み、計画通り達成。一部内部監査にて未作成の課が判明したが、是正完了済み。
リスク マネジメントの 強化	④ 法的要求事項及びその他の要求事項の確実な特定と定期的な順守評価による確実なフォローの実施  (当該要求事項が具体的で全て網羅され、順守評価されていること)	環境関連法令等の抽出・特定一覧表により該当する法令及びその他の要求事項を明確にし運用管理、遵守評価している。法令順守への意識の高まりもあり、全体で93%が計画通り達成している。
	⑤ 部門のリスクの特定とリスク低減施策の推進  (リスクを明確にして、そのリスク排除のための施策を策定し、実施する)	事業活動における環境側面抽出・特定表を利用し、各種リスクの抽出と特定を行い、それを重点管理/日常管理及び教育に反映することによりリスクの低減を推進している。全体で94%が計画通り達成している。
省エネ及びCO <sub>2</sub> 削減活動の加速	⑥ 電力消費設備の省エネ推進  省エネアイテム(設備、運用)の洗い出しと計画、実施	機械加工機のインバータ化などの設備改善や設備の運用見直しにより電力消費設備の省エネ推進に努めた。また、パソコンに関する節電対策を全所に展開し、省エネを推進した。
	⑦ 各部署単位での省エネ活動の推進  「省エネ活動自己診断チェックシート」による実施と、フォロー	「省エネ活動自己診断チェックシート」にて、目標の明確化を図り、省エネ活動を推進している。省エネパトロールにより実施されていることを確認済み。全体で93%が計画通り達成している。
	⑧ 省エネ法改正を踏まえた輸送エネルギー消費  原単位1%減(H22年度比)の達成	トラック相積み輸送の推進などにより輸送1t当りの原単位がH22年度比1%以上減の見込み
廃棄物発生抑制の 強化	⑨ 廃棄物(一般、産業)の排出量(総量)を前年度比4%削減  (H22年度:6,355t → H23年度:6,101t)	<p>[全部門]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物を抑制するため、排出部門記名制度を実施し、分別が不十分な部門を直接指導したことにより不適合が削減した。</li> </ul> <p>[設計部門]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザインレビュー時に廃棄物抑制、発注仕様書での梱包材の低減、通箱化の推進。</li> </ul> <p>[物品受入部門]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木製パレットの再利用化や有価物の分別徹底を実施中。</li> </ul> <p>[排出量実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H23年度予想 6,047t (H22年度実績6,355tに対し4.8%減)</li> </ul>